

# 第30回市民セミナー

【日本水環境学会 設立50周年記念事業】

## 温暖化対策としての ブルーカーボンの可能性を探る ～ 研究の最新動向と今後の展望 ～

主催：(公社)日本水環境学会

後援：全国環境研協議会

期日：2021年9月7日(火)(13:00～17:00)

オンラインで開催します(ZOOMシステム予定)

参加費(講演資料集(印刷物)配布はありません)

一般3,000円, 大学生1,000円(税込), 高校生以下無料  
事前参加申込のみ(当日参加はできません)

2009年に国連環境計画(UNEP)は、海洋生物によって大気中の二酸化炭素が吸収され、海域に貯留された炭素のことをブルーカーボンと名付けました。海域の中でもとりわけ湿地、干潟、藻場、マングローブ林といった生態系による二酸化炭素の吸収速度が速く、浅海域は全球的に重要な炭素貯蔵庫となっています。2015年にはパリ協定が採択され、気候変動の緩和・適応政策において生物圏と海洋をより広く含めることの重要性が強調され、温暖化対策としてのブルーカーボンのポテンシャルが評価されています。島嶼国である日本は海岸延長が長く、国際的にも主要なブルーカーボン貯蔵国である可能性が指摘されています。本セミナーでは、温暖化緩和策としてのブルーカーボンについて、近年の研究動向をご紹介します。

当セミナーの録音、撮影、データ記録、複製・転載等は禁止とします。  
違反者には法的措置をとる場合があります。



公益社団法人 日本水環境学会

# 温暖化対策としての ブルーカーボンの可能性を探る ～ 研究の最新動向と今後の展望～

2021年9月7日(火)プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶 日本水環境学会会長 広島大学環境安全センター 西嶋 渉
- 13:10～14:00 ブルーカーボン～沿岸浅海域における気候変動の緩和～  
海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 桑江 朝比呂
- 14:00～14:50 都市内湾におけるブルーカーボン像の実態調査  
大阪市立大学大学院 工学研究科 遠藤 徹
- 14:50～15:10 休憩
- 15:10～16:00 伊勢湾アマモ場の炭素貯留の評価  
三重県環境生活部 大気・水環境課 国分 秀樹
- 16:00～16:50 身近な海辺「里海」における炭素貯留の評価  
国立環境研究所 生物多様性領域 矢部 徹
- 16:50～17:00 閉会挨拶  
セミナー企画部会長 京都大学大学院地球環境学堂 越後 信哉

- 事前参加申込のみ(当日参加はできません)
- 参加申込み方法: FAX, E-mail, 参加申込書に 参加者氏名 氏名フリガナ ご所属先名 E-mailアドレス 当日連絡できる電話番号 当会会員の場合は会員番号をご記入の上、9月2日までに下記宛お申し込みください。  
また、参加費一般3,000円、大学生1,000円を9月2日までに下記口座へ振込みください。入金を確認後、URL等を記載した参加証(E-mail)をお送りいたします。
- 参加費振込先: 三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950  
(公社)日本水環境学会セミナー口 シャ)ニホンミズカンキョウガッカイセミナーグチ
- セミナー参加証明書の発行について  
継続技術者教育(CPD)の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。参加証明書の発行(PDF・後日メール送信)を希望される方は参加申込みの際に申し出てください。

申込み・問い合わせ先: 公益社団法人 日本水環境学会 事務局 セミナー係  
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201号  
Tel. 03-3632-5351 Fax. 03-3632-5352  
E-mail: [seminar\\_info@jswe.or.jp](mailto:seminar_info@jswe.or.jp)  
<https://www.jswe.or.jp/>